２０２６年４月１６日発行

# 村尾光子の
# 下野（しもつけ）市議会報告

（第82号）
（最終号）

連絡先：栃木県下野市祇園５-11-3
TEL&FAX ： 0285-44-5418
E-mail ： muraomit@nifty.com



## 令和8年第1回臨時会(1月22日)と第1回定例会(2月24日～3月19日)の報告です。



### 《審議事項》

**【第1回臨時会】**
○**報告** (1件) ・専決処分の報告(損害賠償)
○**補正予算** (1件) ・R7年度一般会計補正予算(第7号)
○**報告** (1件) ・国民保護計画の変更

**【第1回定例会】**
○**人事案** (3件)
・教育委員会委員の任命(永山伸一氏：再任) ・市監査委員の選任(中西 稔氏、緑５丁目在住：新任) ・公平委員会委員の選任(上野志帆氏:再任)
○**専決処分の承認** (1件)
・R7年度一般会計補正予算(第８号)
○**R7年度会計補正予算** (7件)
・一般会計(第９号) ・国保会計 ・後期高齢者医療 ・介護保険 ・石橋駅周辺区画整理 ・仁良川地区区画整理 ・水道事業
○**R8年度各会計予算** (8件)
・一般会計 ・国保会計 ・後期高齢者医療 ・介護保険会計 ・区画整理事業(2件、石橋駅周辺・仁良川地区) ・水道事業、・下水道事業
○**条例改正** (13件)
・議員報酬等、市長等給与、職員給与等、会計年度任用職員給与等、単純労務職員給与等(5件) ・国保税条例 ・市地区計画の区域内建築物の制限 ・水道条例 ・下水道条例 ・市企業職員給与等条例 ・農集排施設条例 ・水道及び下水道事業設置条例 ・体育施設及び学校施設開放使用料条例
○**その他** (3件) ・土地の取得(2件) ・市道路線認定

**【追加議案】**
○**報告** (1件) ・専決処分の報告(損害賠償)
○**補正予算** (1件) ・R7年度一般会計補正予算(第10号)
○**発議** (1件) ・市議会会議規則改正(広報広聴委員会設置)

■**会派代表質問：3議員、一般質問:8議員が質しました**

**皆様、お元気にお過ごしでしょうか。**

**突然ですが、私は今期限りで市議会議員を引退します。**
今号は最後のお届けです。

議会改革や新たな図書館設置構想、そして近く最終段階を迎えるであろう県南広域的水道整備計画等々、気になることはいくつもあります。
が、水道水問題については次の方々が、真摯に取り組みたいと表明しています。

**仲村良隆さん**(緑５丁目)：水道水を考える市民ネットで一緒に学習活動してきた方
**石井たつひろさん**(下古山)：水道水問題について勉強し取り組みたい、と大垣 隆様と共に訪ねてこられた方
**長田恭子さん**(祇園４丁目)：水道水の安全・安心・持続性を考えると話された方

勿論、会派仲間の**石川 浩議員**(駅東)、**鈴木一司議員**(小金井)も！ 応援したい方々です。期待しています！！

《(前任期会派)下野市民派クラブ有志主催》

## 市民派カフェ
### ― 議会報告＆意見交換会 ―



とき：Ｒ８年５月９日(土)
午後１時３０分～３時３０分
ところ：グリーンタウンｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ 会議室
報告者：鈴木一司・石川 浩・加藤好雄・村尾光子
ゲストスピーカー：坂村哲也市長
**どなたもご自由におでかけください！(出入り自由)**

## ■Ｒ８年度 一般会計当初予算額は314億4千万円 ― 本市発足以来最大の予算規模 ―

**前年度比24億8千万円(8.5%)の増**

### 《市長予算編成方針》

R8 年度は第三次総合計画(R8 ～ 17 年度)、及び前期基本計画(R8 ～ 12 年度)の開始年度となる。社会経済状況の変化、市民ニーズを的確に捉え、健全財政を維持しながら、より一層住みよいまちへ発展するための予算編成とした。

古代から人々が安心な暮らしを送ってきた本市が、これからも変わらず続いていくようにとの想いを込め『**未来へつづく 東の飛鳥 しあわせ道中**』予算として編成した。

今定例会では第三次下野市総合計画(2026 ～ 2035 年度)基本構想と前期基本計画(2026 ～ 2030 年度)を議決した。R8 年度予算はこれらを踏まえて編成された。

### 《第三次総合計画基本構想で示す施策大綱》

**目標1 次世代を育む、子育てに優しいまちづくり 【子育て】**

出産・子育てに希望を持てる環境の創出と、ライフステージに応じた切れ目ない子育て支援や良好な生育環境の確保により、子育てに優しいまちを目指す。

**目標2 教育・スポーツ・文化の振興で未来を創る、笑顔あふれるまちづくり 【教育文化】**

全ての市民が生涯にわたって学び、スポーツを楽しめる環境づくりを進め、様々な分野で市民が集い、誰もがいきいきと活動するまちを目指す。

**目標3 医療と福祉が支える、いつまでも健やかに暮らせるまちづくり 【健康福祉】**

市内に数多くの医療機関が立地する恵まれた環境を活かし、医療・福祉・介護の連携強化や、地域全体で支え合う仕組みを整え、年齢や障がいの有無にかかわらず、いつまでも健やかに安心して住み続けることができる、誰一人取り残さない、全ての人に優しいまちをめざす。

**目標4 地域の特性を活かした産業の振興による、活力あるまちづくり 【産業】**

立地特性を活かした産業の振興と新たな価値を創出する次世代型産業の育成により、地域の雇用確保を図り人々がやりがいを持って働ける活力のあるまちを目指す。

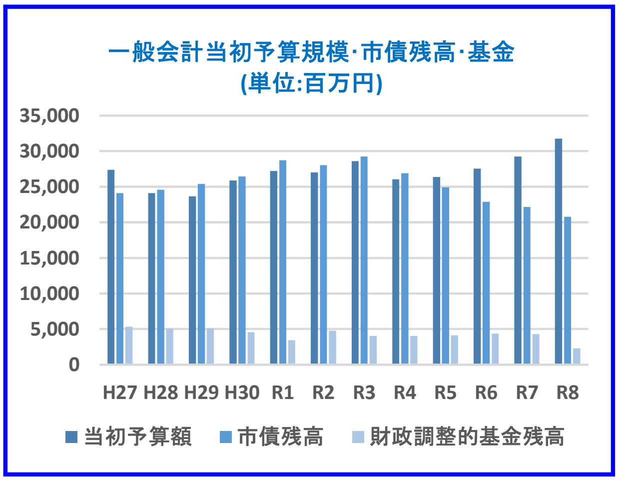
**目標5 都市環境の整備・維持保全による安全・安心で快適なまちづくり 【都市環境】**

豊かな自然と調和した良好な住環境を維持しながら、災害に強く、誰もが安心して暮らせる都市基盤の整備、市役所周辺エリアへの都市機能の集約や公共交通の利便性の向上、脱炭素社会の実現に向けた取組を通じて、持続可能で快適なまちを目指す。

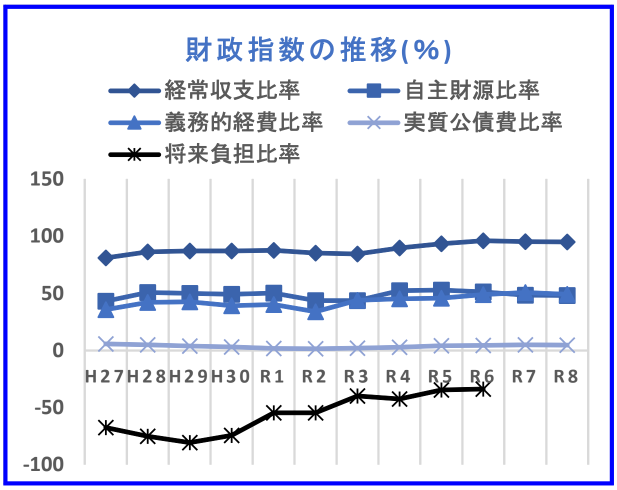
**目標6 協働・共創と効率的な行政運営による、持続可能なまちづくり 【地域社会・行財政】**

多様な主体の協働・共創によるまちづくりと、限られた資源を有効に活用した健全で効率的な行財政運営により、持続可能なまちを目指す。

**総合計画を始めいくつもの計画がパブコメに供され、議員も意見をとの連絡があったが、議案を読みながらこれらの計画についての研究はできなかった。こんなやり方で良いのか、疑問が残る。特に、読書活動推進計画案は未完成のまま?!だった･･･。**




※財政調整的基金残高：財政調整基金＋減債基金
※市債残高と基金残高は各年度末残高額(R7 、R8 は見込額)
※他に公営企業債は 84 億 0462 万円(R8 年度末見込み)




R7 、R8 年度は予算段階の見込数値

### 《R8年度一般会計歳入》

**【主な歳入】 市税は8280 万円の増収見込み**

| (単位:万円) | R8 年度 | 前年度との比較 |
|---|---|---|
| 市税 | 102 億 1030 | 3 億 2590 |
| 分担金・負担金 | 8867 | △ 508 |
| 使用料・手数料 | 2 億 1105 | 708 |
| 基金・他会計繰入金 | 30 億 2202 | 2 億 4466 |
| 寄附金・諸収入 | 10 億 9778 | 4 億 4402 |
| 自主財源小計 | 152億5350 | 10 億 7973 |
| 地方譲与税 | 2 億 1707 | △ 1000 |
| 地方消費税交付金 | 16 億 0000 | 1 億 0000 |
| 地方特例交付金 | 2 億 0000 | 1 億 5000 |
| 地方交付税 | 44 億 5000 | 2 億 0000 |
| 国庫支出金 | 55 億 2180 | 6 億 3100 |
| 県支出金 | 26 億 6146 | 5 億 0755 |
| 市債 | 14 億 3570 | △ 4000 |
| 依存財源小計 | 164億8649 | 14 億 0026 |

＊自主財源の歳入に占める割合は 48.2 %(R7:48.4 %)

## 《総合計画 実施計画での主な事業》

青字は新規事業　　（1万円未満切り捨て）

### 目標1　次世代を育む子育てに優しいまちづくり

○乳幼児等通園支援事業（特別保育補助事業）　1724 万円

○こどもの居場所づくり事業　637 万円

○学校給食支援事業　2 億 8324 万円

保護者の経済的負担軽減のため、学校給食費の支援

○認定こども園等整備事業　2 億 9910 万円

就学前教育・保育施設整備交付事業補助金（石橋幼稚園は認定こども園に） 2 億 4853

○市民活動センター管理運営事業　2044 万円

市民活動センター指定管理委託費 1900

○教育・保育施設型委託費　27 億 6761 万円

○妊娠・出産包括支援事業　5936 万円

妊娠期から子育て期における切れ目のない支援

### 目標2　教育・スポーツ・文化の振興で未来を創る

○小・中・義務教育学校コンピューター管理事業　5 億 7331 万円

GIGA スクール第 2 期構想に基づく端末等更新

○国分寺運動公園野球場内野舗装改修事業　5341 万円

○（仮称）南河内第二中学校区学校給食センター整備事業　5 億 3104 万円

○下野薬師寺跡整備事業　4127 万円

第 3 期保存整備基本計画に基づき、金堂跡基壇表示等保存整備工事 3481 、講堂・東基壇整備実施設計 646

### 目標3　医療と福祉が支え、いつまでも健やかに暮らせる

○骨粗しょう症検診の拡大（青年期生活習慣病予防事業）　23 万円

20・25・30・35 歳の女性を対象に実施

○他機関協働事業等事業　577 万円

アウトリーチ等を通じた継続的支援及び社会参加に向けた支援

○重度心身障がい者医療費助成事業（現物給付）　1 億 3054 万円

○障がい者自立支援給付事業　15 億 2997 万円

障がい者・難病患者等の介護サービス等への給付

○障がい児通所支援給付事業　7 億 2569 万円

○がん対策事業　1 億 3790 万円

○予防接種事業　2 億 6971 万円

○生活保護費　7 億 4658 万円

### 目標4　地域の特性を活かした産業の振興

○かんぴょう生産振興事業（特定農産物支援事業）140 万円

かんぴょう剥き時の人手不足解消のための雇用補助

○道の駅しもつけ拡張等整備事業　8811 万円

施設老朽化に伴う修繕、新たなニーズに対応し拡張整備

○新産業団地整備促進事業　2524 万円

しもつけ産業団地整備完了、新たな産業団地整備に向けて分筆測量・都市計画決定図書作成の業務委託

○商工業振興事業　1 億 0890 万円

工場誘致奨励金 9544

○天平の丘公園周辺施設整備事業　6200 万円

社会資本総合交付金を活用して R3 ～ 8 年度に再整備する。事業効果分析調査 243 、史跡公園整備工事、淡墨亭雨漏り修繕 154 、甲塚古墳用地購入・整備 1875

### 目標5　都市環境の整備・維持保全

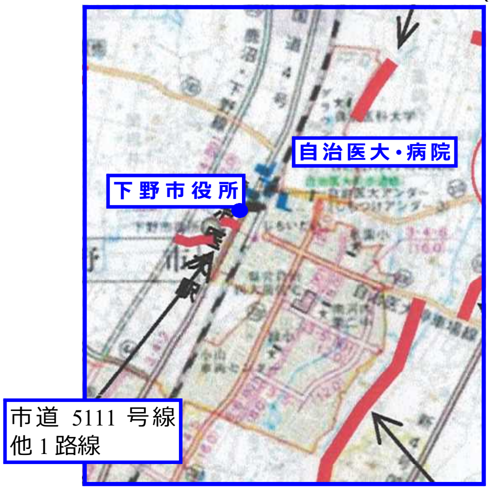
○水道事業会計操出金　874 万円

石橋第 2 配水区水質汚染対策に係る操出し

○市道 5111 号線他 1 路線整備事業　5019 万円

都市核の形成に資する地域基盤の整備、市役所へのアクセスを向上させ、都市機能の集積を図る（笹原地内、延長 600 m、幅員 14 m）、路線測量・詳細設計・物件補償調査算定・土地評価の委託費 4846

市道4133号線(自治医大東側)




市道1-9号線を延長
哲学の道も北へ延長 } 用地取得




○都市核形成事業　1941 万円

都市核形成事業化に向けた計画策定

○都市公園トイレ等適正配置事業　3630 万円

「公園等のトイレ現状調査」を実施し「公園等のトイレ改修方針」（R8.1 月）策定、トイレ設置箇所 47 、トイレ棟数 57 （うち築 31 年以上 30 棟、築 21 ～ 30 年 10 棟、築 20 年以内 17 棟）の廃止を含めて策定。R8 年度は西坪山公園、横塚児童公園、上柴公園の 3 箇所を改修

○三王山ふれあい公園機能強化事業　1 億 3043 万円

複合遊具等設置実施設計・施工

○消防器具置場建設事業　4511 万円

消防団第 3 分団第 1 部詰所建替

○石橋地区消防組合負担金　10 億 3771 万円

○非常備消防事務費　5806 万円

○スマート IC 整備事業　1 億 7220 万円

ネクスコ東日本へ負担金 1 億、工事請負費（市道・調整池）6000 、開通式関係 650）

## 目標6　協働・共創と効率的な行政運営

〇多世代交流施設等基本計画策定業務　2078 万円

「自治医大駅周辺地区まちづくり基本構想」を踏まえた基本計画の策定

〇受付窓口システム、セミセルフレジ導入

（戸籍住民基本台帳費）　1497 万円

市役所来庁者の利便性・効率姓の向上を図る

〇市長・市議会議員・県議会議員選挙費　9788 万円

市長選 3123、市議選 5889、県議選 775

〇市政施行 20 周年記念事業　700 万円

市民提案事業補助 600、記念事業の実施

〇ふるさと納税推進事業　2 億 2395 万円

寄付額 4 億円を見込み、返礼品 1 億 4000、返礼品発送委託 2710、広告料 880、通信運搬費 526

〇自治会長等事務報償事業　4314 万円

自治会長行政事務委嘱報償金 1346(146 人、5 万＋400 円×世帯数)、自治会振興費交付金 2962(146 自治会、3 万＋ 1500 円×世帯数、但し、自治会公民館を所有している場合は 3 万円加算)

〇自治医科大学連携事業　300 万円

災害に対応できる人材育成等目的の講座への支援

〇姉妹都市中学生受入及び中学生派遣事業　594 万円

姉妹都市ﾃﾞｨｰﾂﾍﾙﾂﾀｰﾙとの中学生受入れ・派遣交流事業

〇コミュニティｾﾝﾀｰ指定管理者施設管理運営費　2848 万円

市内 13 のｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰが指定管理者による運営

### 《R８年度特別会計予算規模》　（単位:万円）

| | R8 年度 | R7 年度 |
|---|---|---|
| 国民健康保険 | 52 億 9557 | 52 億 5327 |
| 後期高齢者医療 | 10 億 1622 | 9 億 3881 |
| 介護保険 | 46 億 6249 | 46 億 5095 |
| 石橋駅周辺土地区画整理 | 2470 | 5554 |
| 仁良川地区土地区画整理 | 3 億 7291 | 3 億 3211 |
| 水道事業 | 17 億 7392 | 17 億 4433 |
| 下水道事業 | 32 億 6789 | 34 億 9449 |

＊公営企業会計である水道事業・下水道事業会計の予算規模は、それぞれ収益的支出と資本的支出の合計額

### 《一般会計から他会計への繰出金》 15 億 3032 万円

| 支出先会計 | R8 年度 | R7 年当初 |
|---|---|---|
| 〇国民健康保険 | 3 億 4420 | 3 億 5653 |
| 〇後期高齢者医療 | 1 億 3897 | 1 億 4366 |
| 〇介護保険 | 7 億 4084 | 7 億 3704 |
| 〇仁良川地区区画整理 | 2 億 7498 | 2 億 3563 |
| 〇石橋駅周辺区画整理 | 2469 | 5554 |
| 〇土地開発基金 | 634 | 190 |
| 〇水道事業会計 | 874 | — |

＊R 8 年度は、介護保険会計から一般会計への操出金 2732 万円がある。重層的支援体制整備事業に充てる。

＊水道事業会計へは、一般会計から石橋第 2 配水区の水質検査・浄水器購入補助分を繰出す。

### 《村尾総括質疑から》

Q　国の予算審議が終了していない段階での市予算編成だが、今後大きく変わることはあるのか。

国庫支出金は何を根拠に算定したのか。

A　現行制度が継続するという見込みで組んだ。国県支出金については、変更時に適宜内容は見直す。

Q　市税の軽自動車税の制度改正があった。減額となる分は全額補填されるのか。

A　R8年4月から環境性能割が廃止され、「種別割」の名称が「軽自動車税」に変更される。

また、地方揮発油譲与税は、暫定税率の廃止により減額が見込まれる。減収分はR8年度国の地方税制対策により全額補填され、地方特例交付金に計上した。軽自動車税関連を含めて前年度より1億5千万円増の2億円を見込んだ。

Q　コミュニティFM放送制作費3030万円、ケーブルテレビ番組制作放送費211万円は例年同額の計上だが、積算根拠、委託先での支出状況確認方法を問う。

A　委託費積算内容は下記の通り。業務委託なので、委託した業務の履行を確認することとしており、委託先事業者の支出状況は確認していない。

●コミュニティFM番組制作放送
(委託先：ケーブルビジョン株式会社)

◆しもつけピタっとラジオ(市広報番組、55 分枠)年間 260 回：390 万円、◆スポット CM(40 秒)制作・放送 1615 回：475 万 4 千円、◆各番組内お知らせｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ制作放送 1720 回：1716 万円、◆市歌放送 730 回：292 万円、◆時報、毎日 1 回：72 万円、◆イベント時の出張特別制作放送、4 回：160 万円
合計3105万4千円──>割引価格税込み3030万円

●ケーブルテレビ番組制作放送
(委託先：ケーブルテレビ株式会社)

◆下野・壬生・上三川チャンネル中の「しもハピ！チャンネル」(市広報番組、5 分間、1 日 6 回)：〇制作管理費・機材費・字幕原稿・入力費等 12 か月 158 万円、〇撮影費 24 時間 15 万円、〇編集費 30 時間 18 万 8 千円 ─> 合計消費税込み 211万円

Q　土地開発基金(注)の活用実績、今後の活用予定を問う。

A　H30、R元年度に義務教育学校整備用地取得に活用、R6.7年度に県営薬師寺・柴地区土地改良事業の創設換地の土地取得に活用した。今後の活用予定は特にない。

(注)土地開発基金：公用・公共用等に供する土地を予め取得するために設置した基金。特別会計として管理し、基金で購入する時は議決は不用、基金から一般会計で取得する時に議案となる。

## ■ R7 年度一般会計補正予算（第 7 ～ 10 号）

補正後、**予算総額は 338 億 1375 万 7 千円**に

（1 万円未満切捨）

**■（第 7 号） 補正額：5 億 6329 万円増** （臨時議会）

【歳入】

〇国庫補助金 4 億 8829 万円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3 億 0150、物価高対応子育て応援手当補助金 1 億 8679

〇財政調整基金繰入金 7500 万円

【歳出】

〇物価高対応子育て応援手当 1 億 8679 万円

児童(0 歳～ 3 年生)に 2 万円／1 人を支給、対象児童 9,200 人、事務費 279 、補助率国 10/10

〇商工振興事業 3 億 7687 万円

住民(R8.1.1 現在、住民基本台帳に登録がある者) 59,500 人に 6000 円／人の商品券給付 3 億 5700 、通信運搬費・商品券印刷費など。
4 月以降、世帯人数分をまとめて発送

**■（第 8 号） 補正額：3421 万円増** （専決処分）

【歳入】

〇県委託金(衆議院議員選挙執行委託) 3321 万円

〇財政調整基金繰入金 100 万円

【歳出】

〇衆議院議員選挙費 3428 万円

〇予備費 △ 6 万円

**■（第 9 号） 補正額：6 億 5546 万円増**

【主な歳入】

〇地方交付税 3 億 6088 万円

〇国庫支出金 6 億 0793 万円

〇県支出金 3018 万円

〇財産収入 3 億 0627 万円

市有地売払収入 1 億 0343 、有価証券売払差額益 1 億 5860

〇寄附金 2 億 2259 万円

ふるさと寄附金 2 億 2169

〇基金繰入金 △ 7 億 1545 万円

〇諸収入 1359 万円

〇市債 △ 1 億 7180 万円

【主な歳出】

〇積立金 6 億 6425 万円

財政調整 1 億 7003 、減債 2 億 5413 、地域づくり 2 億 2342 、土地開発基金へ利子分操出 248

〇障がい者給付事業 5311 万円

〇子育て支援事業 739 万円

病児・病後児・体調不良児対応型など

〇特別支援児童保育補助金 1347 万円

〇小山広域保健衛生組合負担金 △ 1 億 0449 万円

余剰金精算、第 2 期エネルギー回収施設は R9 年に完成するので 8 年度は積立しない。

〇観光施設管理事業 2058 万円

甲塚古墳用地測量・土地評価・案内板設置他

〇道路構造物長寿命化事業 6446 万円

上河原橋修繕設計 1144 、石橋駅西口ペデストリアンデッキ修繕 3600

〇スマート IC 整備事業 4 億 9095 万円

〇下野薬師寺いにしえの道整備事業(道路舗装)2600 万円

〇学校教育部活動指導員報償費 △ 184 万円

部活動指導員は単独で教育的な指導も可能な人、部活動補助員は R6 8 人、R7 15 人採用、広げる

〇緑小南棟トイレ改修事業 1 億 0328 万円

国の補正予算により 8 年度予算を前倒し計上

**■（第 10 号） 補正額：5 億 4432 万円** （追加議案）

【歳入】

〇国庫補助金 5002 万円

地域介護・福祉空間整備等交付金 1546
学校施設環境改善交付金 3456

〇市債 4 億 9430 万円

【歳出】

〇高齢者福祉費 1546 万円

非常用電源設備導入(2 施設、認知症高齢者ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・小規模多機能型居宅介護事業所、国補助率 10/10)、R8 年度に繰越して実施

〇学校給食費 5 億 2903 万円

(仮称)南河内第二中学校区学校給食センター建設事業、スケジュールの見直しを行い R7 年度整備予定を R8 年度としたが、R7 年度国補正予算での補助金交付内定、そのため 7 年度予算に改めて計上。
R7 ～ 9 年度の継続費総額 19 億 9014 万円設定

## 《条例改正》

## ■国民健康保険税の一部改正

**―子ども・子育て支援金を加算徴収、**R8 年度から―

**子ども・子育て支援法改正法**(R6 年 6 月成立)により、医療保険者は被保険者から医療保険料と合わせて「子ども・子育て支援金」を徴収し、支援納付金として国へ納付することとされた。

**子ども・子育て支援金：**社会全体で子ども・子育て世帯を応援していくため「子ども未来戦略」に基づき、児童手当の拡充等の抜本的な給付財源の一部に充当。
**支援金：**R8 ～ 10 年度に段階的に導入
（R8 6,000 億円、R9 8,000 億円、R10 1 兆円）

### ◆子ども・子育て支援金賦課額

国保財政運営は H30 年度から栃木県が担っており、県が市町ごとに医療費水準・所得水準に応じた事業費納付金額を決定、市町は県から示された額を徴収・納付している。

子ども・子育て支援金も同様に栃木県が示す「下野市標準保険料率」を基本に設定した。栃木県は将来的には市町の保険税水準の統一を目指している。

| | R8 下野市 | 栃木県算定結果 |
|---|---|---|
| 所得割 | 0.24 ／ 100 | 0.24 ／ 100 |
| 均等割 | 1,300 円 | 1,389 円 |
| 平等割 | 900 円 | 970 円 |
| 18 歳以上均等割 | 100 円 | 110 円 |

**＊ 18 歳未満の均等割は 10 割軽減**

**—国民健康保険運営協議会(R8.2/4)から—**

国はR8年度に子ども･子育て支援6000億円の納付金を医療保険者に求めている。

「国民健康保険を運営している栃木県は、市町の国保被保険者の保険料が急激に引き上げられることに鑑み、R8年度分については県が保有する(国保)財政調整基金から22億円を投入したとのこと。

国への納付金はR10年度(1兆円)まで段階的に引き上げられるが、県の基金による軽減措置がなされるかどうか、全く不明。」(市民課長)

**保険料は一体いくらになるのか、おそろしい･･･。社会全体で応援するなら、国税で実施すべきではないか？**

## ■姿川西部地区クリーンセンター廃止、公共下水道事業に接続

これまで計画的に農業集落排水事業の終末処理場を廃止して順次公共下水道に接続する事業を進めてきた。今回は姿川西部地区の事業が完了し、公共下水道に 接続する。

公布の日から 3 か月を超えない範囲内に施行する。

## ■水道事業及び下水道事業の設置に関する条例の一部改正

上記のため水道･下水道事業の経営規模を変更した。

**【水道事業】**

| | 現行 | 改正後 |
|---|---|---|
| 給水人口 | 58,200 人 | 57,400 人 |
| 1 日最大給水量 | 23,800m$^3$ | 26,600 m$^3$ |

**【下水道事業】**

| | 現行 | 改正後 |
|---|---|---|
| 排水人口 | 49,850 人 | 52,680 人 |
| 1 日最大汚水量 | 24,109m$^3$ | 25,288m$^3$ |

**【農業集落排水事業】**

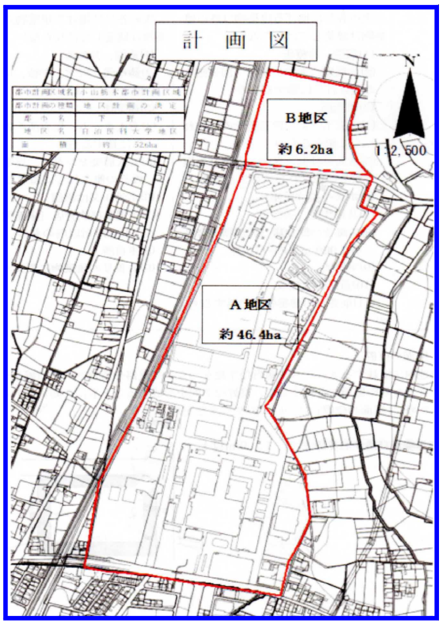
| | 現行 | 改正後 |
|---|---|---|
| 排水人口 | 9,110 人, | 5,670 人 |
| 1 日最大処理能 | 2,633m$^3$ | 1,658m$^3$ |

## ■自治医科大学地区を地区計画の区域内とする　⟹　地区計画区域内の建築物の制限に関する条例改正

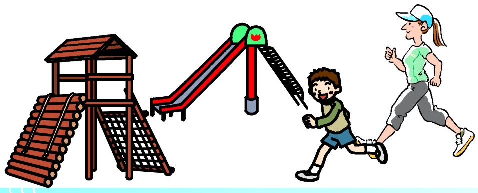
下野市では、自治医大周辺地区、仁良川地区、下古山地区に地区計画が定められており、建築基準法第 68 条の 2 の規定に基づき区分に応じた建築物の用途の制限を決めている。今回は自治医科大学地区の地区整備計画が定められた区域を追加した。

**名称：自治医科大学地区**　（市街化区域編入後の用途種別：準工業地域）

区域：都市計画法第 20 条第 1 項の規定により告示された自治医科大学地区地区計画の区域のうち地区整備計画が定められた区域

| 計画地区の区分 | 建築物の用途制限 | 建築物の外壁等の面から道路境界線･隣地境界線までの距離 |
|---|---|---|
| 自治医科大学 A 地区 | **次に掲げる建築物以外の建築物は建築してはならない。**<br>1. 病院、診療所<br>2. 学校、図書館その他これらに類するもの<br>3. 研究所<br>4. 老人ホーム、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの<br>5. 老人福祉センター、児童厚生施設その他これらに類するもの<br>6. ホテル又は旅館　7. 共同住宅、寄宿舎<br>8. 店舗及び飲食店（その用途に供する部分の床面積の合計が 1,000 m$^2$ 以内のもの）<br>9. 事務所<br>10. 道路排水施設<br>11. 前各号の建築物に附属するもの | 建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線(隅切り部分は除く)又は隣地境界線までの距離の最低限度は次の通りとする。<br>道路境界線　1.0 m<br>隣地境界線　1.0 m<br><br> |
| 自治医科大学 B 地区 | **次に掲げる建築物以外の建築物は建築してはならない。**<br>1. 病院、診療所<br>2. 学校、図書館その他これらに類するもの<br>3. 研究所<br>4. 老人ホーム、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの<br>5. 老人福祉センター、児童厚生施設その他これらに類するもの<br>6. ホテル又は旅館<br>7. 店舗及び飲食店（その用途に供する部分の床面積の合計が 3,000 m$^2$ 以内のもの）<br>8. 事務所<br>9. 前各号の建築物に附属するもの | |

＊建築物の敷地面積の最低限度、高さ（基本的に 20 m）・建ぺい率・容積率の最高限度は規定していない。
高さについてはヘリポートがあるため別に航空法の規制を受ける。**自治医科大学地区にホテルも建てられる！**



## 村尾光子の 一般質問

任期最後、そして私の最後の機会となった今回の質問だが、残された時間はたったの 20 分。それなりに精一杯に質した。市長には時間の配慮をいただき、感謝です!
一般質問するにあたり、沢山の学びがあり、大きな収穫でした。



## 予算編成に際して、スクラップアンドビルドはどのように行ったか

限りある財源を効果的に使うため、かつては「スクラップアンドビルド(古くなったものを壊して新しいものに変える)」とよく言われたが、近年は「ワイズ・スペンディング(賢明な支出、選択と集中)」と言われている。予算編成では具体的にどのように為されたのか、質した。

**スクラップ化した事業、及びこれにより新規又は振り替えた事業は何か。スクラップ化した主な事業ごとに理由と新規または振り替えた事業に期待できる効果を説明されたい。**

**【坂村市長】** これまでも、限られた財源と人的資源を最大限活用し、既存事業の改善や見直しに取り組んできた。

R8 年度予算編成に当たっては、次期総合計画を見据えた予算編成を基本方針とした。将来像である「しあわせうまれる 下野市～しもつけくらしウッテツケ～」の実現に向けて、これまでの施策を継続、見直し、再構築の視点で総合的に勘案し、編成した。

事務事業の見直し：全ての事業について費用対効果や時代に即した有効性を検証するとともに、決算データに基づく多角的な分析や他自治体の動向を把握し、事業の廃止、縮小、統合を含め、厳しく精査した。

予算編成時の具体的な見直し

**1.ふれあい館温浴施設を R7 年度末で閉鎖**(公共施設マネジメントの一環)⟶維持管理費抑制が可能

一方、隣接するふれあい公園内に R8 年度中にインクルーシブ遊具整備予定。既存設備と相乗効果により観光・レクエーション拠点としての回遊性を向上させる。



日野市 日野中央公園ｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ遊具

**2.育児ママ・パパリフレッシュ事業**(未就園の生後 3 か月～ 1 歳未満の乳幼児預かり事業)は全国に先駆けて本市独自に実施⟶ R8 年度より「こども誰でも通園制度」(国の施策)が本格実施。対象年齢・利用可能時間の拡大となり、より包括的な支援となるため、本事業は廃止する。既存の利用券を持っている方は、経過措置として R8 年度末まで利用可能とした。

**3.施設運営体制の最適化：** 南河内東公民館は R8 年 4 月より吉田地区コミュニティセンターとして地域へ移管、指定管理者による運営に移行する。経費削減はもとより、地域コミュニティに根差した、より柔軟で効率的な運営を期待する。

**4.管理体制の集約化：** 公園施設維持管理事業の樹木管理業務について、所管各課が個別に管理⟶都市建設部管理保全課による一括管理に集約することで、都市公園の一体化、効率的な樹木管理を図る。

今後も、扶助費や投資的経費の増加など、厳しい財政環境が予想される。単なる事業削減にとどまることなく、財源確保を図り効率的･効果的に活用し、選択と集中の観点から市民生活の質を高める未来への投資へと戦略的に振り向け、健全財政の維持と質の高い行政サービスの提供を両立させていく。

**(再質問)南河内東公民館を廃止しコミュニティセンターとすることによる費用対効果、経費削減はどのようか。**
**社会教育施設が一つ無くなるが、市民からの意見、苦情などは寄せられているか。公民館以外ではどうか。**

**【倉井総務部長】** 東公民館で実施していた各事業は継続する前提の下に、各種講座は振り分けて実施することとしている。 この部分の費用削減はない。

人件費については、再任用正職員 1 人配置していたので、この分約 400 万円ほど削減となる。

**【米井教育次長】** 東公民館で活動していた自主講座の方々から、コミ・センとなった場合の活動拠点についての質問があった。南河内公民館に登録して引き続き活動されるよう、回答した。

**【荻原健康福祉部長】** ふれあい館温浴施設廃止については既に周知を始めており、苦情などはない。ゆうゆう館の利用を案内している。

## 上下水道料金の在り方について、今後の見通しや方針は?

**(1)下水道料金について、R7年2月に上下水道料金審議会から答申された改定案はいつ、どのように実施するのか。**

**【坂村市長】** 近年の動向は、過去 5 年間には本市を含む県内 14 市中 12 市が、既に料金改定実施、あるいは改定に向けた検討に着手している。

審議会からは昨年 2 月に、改定率 25 %増の答申をいただいている。本来であれば下水道使用料改定事務を進めるところだが、昨年 1 月末からの石橋第 2 配水区での PFAS 汚染の現状を鑑み、水道料金と同時に徴収する下水道使用料の改定については、PFAS 汚染対策の状況や効果の経過を見ながら改定時期を検討している。

今後も、水質状況を注視しながら改定時期を判断する。

なお、改定に当たっては、議会で市下水道条例改正案の議決後、6 か月程度の周知期間を設け、下水道使用料改定を行う予定である。

**(2)水道事業においても施設の老朽化対策、耐震化等のほかPFAS問題への対応等、事業費の増大が予測される。水道料金はどのように考えているか。**
**また、PFAS対策に関して、国・県の財政支援は得られているのか。　見通しはどのようか。**

**【坂村市長】** 水道料金については、現在進めている**経営戦略**の見直し結果を基に検討することとしている。

近年の物価高騰の影響により、水道事業の経営は非常に厳しい現状であり、さらに、施設の老朽化対策、耐震化等により事業費の増大が予測されている。

このような状況を踏まえ、水道料金の在り方について検討すべく、R8 年度に上下水道料金審議会を開催する予定である。

**PFAS 対策の水質改善対策**として、R7 年 7 月 15 日に仮設浄化タンクを設置、12 月 26 日に浄化装置の運転を開始した。その後の PFAS 測定値は 1 リットル中 10 ナノグラム程度と、暫定目標値 50 ナノグラムを大きく下回っている。

**PFAS 対策への国の財政支援**として、石橋第 2 配水区新設井戸機械設備設置工事に対して社会資本整備総合交付金(R7 年第 4 回定例会で補正予算議決)を活用している。

さらに、井戸と配水場を結ぶ導水管整備についても、社会資本総合交付金を活用すべく予算要望をしている。

現在、国では PFAS に関する調査・研究や支援策の検討が進められているので、今後とも情報収集に努め有効活用を図る。

**(再質問)昨年夏以降に、PFAS汚染源に関する調査で、県職員と共に市担当職員が自衛隊宇都宮駐屯地を訪問したと聞いている。その結果はどのように報告するのか。**
**また、水道料金についてもいずれ引き上げざるを得ないと思うが、実施時期は、双方同時にではなく、ある程度の期間をおいていただきたい。**

**【浅香市民生活部長】** この件については現在も県と共同して調査中である。

今後も県と調査内容等を協議し、国に指導・助言を仰ぎながら、しかるべき時期に改めて説明する。

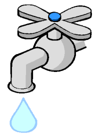
**【倉持都市建設部長】** 3 月 6、7 日に水道水 PFAS 関係について地元住民への説明会を予定しており、汚染源については環境課が担当しているので、説明会に同行する。

**【坂村市長】** 住民説明会の事前に議会へも説明する。

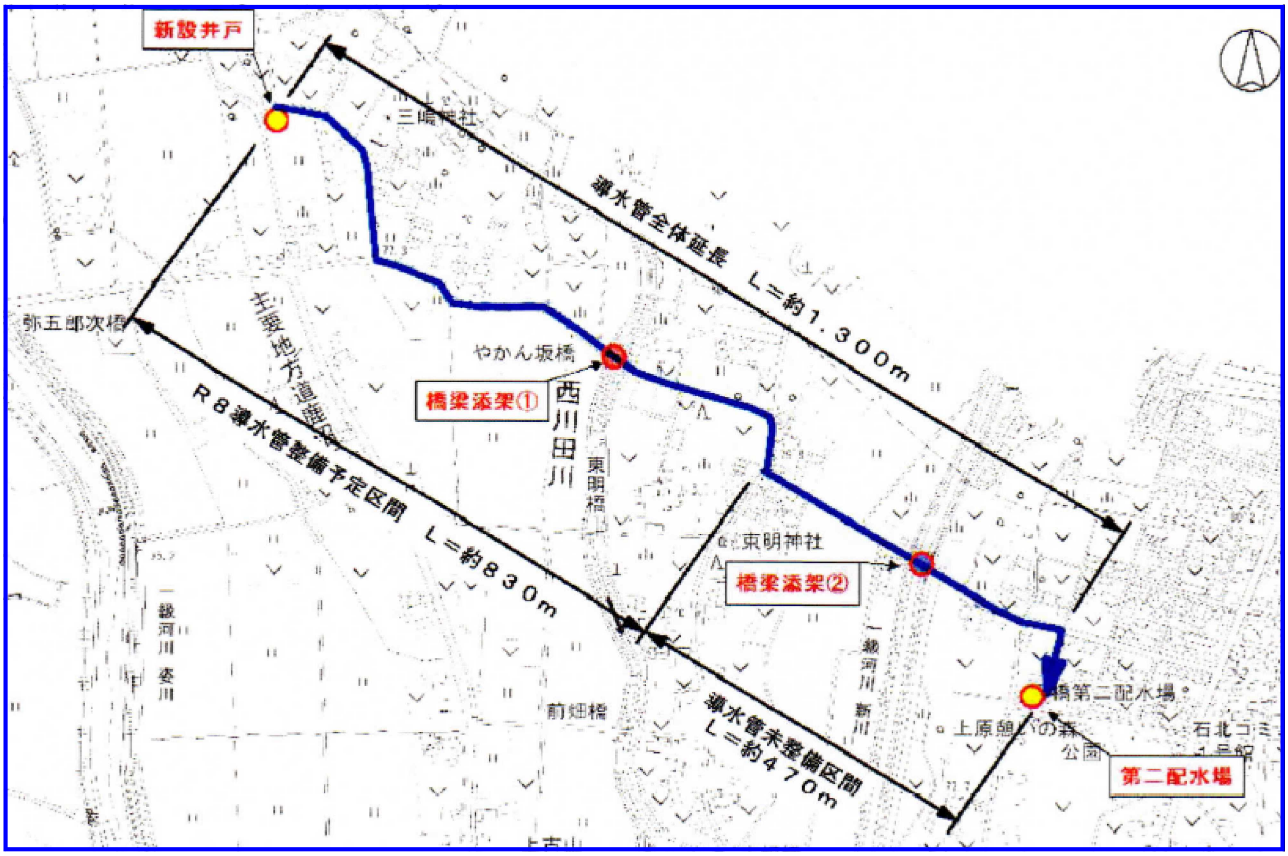
下水道料金改定については、しかるべき時に答申通りに改定したい。

また、上水道料金については上下水道料金審議会で検討していただくが、即に、というわけではないと考えている。

R7年度：石橋第2配水区新設井戸の機械設備(非常用電源含む)設置工事を実施　　　1 億 7936 万円



新設井戸からの導水管敷設位置　（全体延長 約 1,300m、R8 年度整備予定区間 約 830m 、未整備区間 約 470m）



## 《今任期4年間に一般質問で提案・質した主な事項》（今任期：R4年5月～R8年3月）

| | 質問・提案内容 | 答弁・取組 |
|---|---|---|
| 事務事業・主権者教育・人権 | ○これからの主権者教育、どう進めるのか（R4.第2回定例会） | → 学習指導要領に基づき実施 市独自に中学生議会、こども未来プロジェクト、社会教育で出前講座「選挙に行こう」 |
| | ○政治分野での男女共同参画推進、取組みは（R4.第2回定例会） | → 「だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例」(H28) 第三次男女共同参画プラン(R3)、研修会・講座開催 |
| | ○ICTを活用して市民の市政への参画推進を（R5.第1回定例会） | → ｱﾝｹｰﾄのｵﾝﾗｲﾝ化には課題があり研究が必要。各種計画策定時の標本調査にしもつけｵﾝﾗｲﾝｻｰﾋﾞｽ利用を検討する |
| | ○災害時の避難行動要支援者の「個別行動計画」作成体制は万全か（R5.第3回定例会） | → R7年度中に、避難行動要支援者全員の個別避難計画作成完了を目指している。 |
| | ○予算編成時のｽｸﾗｯﾌﾟｱﾝﾄﾞﾋﾞﾙﾄﾞはどう実施しているか（R8.第1回定例会） | → 本号p7に掲載 |
| | ○入札制度の透明性確保は万全か（R5.第4回定例会） | → 受注機会拡大のため建設工事等に「取り抜け」を実施。 |
| | ○電子契約導入に向けた方針はどのようか（R5.第4回定例会） | → 研究する。(R7年10月から導入) |
| | ○子どもの意見表明権を保障するためどのような施策を講じているか（R6.第2回定例会） | → 自治基本条例第11条に子どもの参画を規定、第3期こども・子育て支援事業計画はこ「ども計画」を内包する。 |
| | ○外国籍の市民税納税義務者への納税方法等の周知は万全か（R7.第3回定例会） | → 納税義務者及び雇用者に、外国人納税社が理解できるよう周知策を工夫する。 |
| | ○「防災道の駅しもつけ」、災害時の道路アクセスは大丈夫？（R7.第3回定例会） | → 県道については県へ要望書を提出する。新4号国道以外の周辺道路の一部は通行困難になる可能性があるが田川流域の改修を進めており、R8年春に完了予定。 |
| 環境 | ○有機フッ素化合物(PFAS)対策は万全か（R6.第3回定例会） | → 自衛隊宇都宮駐屯地ではR4年度末までに消火剤・消火水専用水槽水処分完了と公表。市内事業者での排出確認は不可 |
| 水道水問題 | ○県南広域的水道整備事業計画にどう対処するか ①県水を受水した場合の上水道事業基盤強化の検討結果、②上下水道料金審議会を上下水道運営審議会に、③事業参画に関して住民投票実施を（R4.第3回定例会） | → ①水道施設に関する情報収集と整理中 ②上下水道運営審議会は必要ない ③住民投票は市民を二分する可能性があり実施しない |
| | ○水道水源の一部を替えることはリスク分散になるのか（R4.第4回定例会） | → 県は「水道法改正(R元年)による水道の基盤強化体制づくりを踏まえた用水供給条件の検討」を依頼した |
| | ○2市1町(栃木市・下野市・壬生町)の協議はどう進んでいるか（R5.第3回定例会） | → 現時点では協議するまでには至らず。県の用水供給単価提示後の各市町の評価を基に協議したい。 |
| | ○市水道施設整備計画と水道ビジョンは改定が必要では？（R6.第1回定例会） | → R7年度以降、水道施設整備計画を見直した上で、経営戦略を見直す。その結果を踏まえて水道ビジョンも見直す |
| | ○水道水PFAS汚染の汚染源究明、長期的な対策は？（R7.第1回定例会） | → 石橋第2配水区に新たな水源井戸を設置、だが相当な期間を要する。住民が願う安全・安心な水を一刻も早く届けたい。 |
| | ○上下水道料金の在り方、今後の方針（R8.第1回定例会） | → 本号p7に掲載 |
| 福祉 | ○ヤングケアラー支援策どう充実させたか（R5.第1回定例会） | → こども家庭ｾﾝﾀｰ設置し、ﾔﾝｸﾞｹｱﾗｰ含め包括的に支援 |
| | ○社会的処方はどう実施されるか（R6.第1回定例会） | → R5.10「福祉まるごと相談窓口」開設、医師会にも周知 |
| | ○高齢者の孤立死・孤独死の防止策はどう実施されているか（R6.第2回定例会） | → 市・社会福祉協議会・地域包括支援センター・生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ・民生委員が連携してきたが、孤立・孤独対策推進法により、地域住民も含めた連携を進める。 |
| | ○「重層的支援体制整備」とはどんな形を目指しているか（R6.第4回定例会） | → 地域共生社会を目指して、全世代を対象として全ての人が自立した生活を地域で送れるよう、地域住民と公的支援が連動して支え合う仕組み |
| | ○「こども誰でも通園制度」本格実施に向けた取組体制を伺う（R7.第2回定例会） | → 現在、類似した「一時預かり事業」15施設、「育児ママ・ﾊﾟﾊﾟﾘﾌﾚｯｼｭ事業」12施設が実施しているので可能。 |
| 農業 | ○食料自給率向上、有機農業への転換（R4.第4回定例会）<br>○「とちぎグリーン農業推進方針」どう進めるのか（R5.第2回定例会）<br>○有機農業の普及・拡大に向けて「特別栽培農産物」の推進を（R7.第4回定例会） | → 国・県の施策活用して担い手支援、直売施設を活用し地産地消、6次産業推進。有機農業者へのアンケート結果踏まえ意見交換会の機会を見極める。有機農業推進計画策定は慎重に進める。<br>みどり認定取得を優先し平行して特別栽培農産物も進める |
| 教育 | ○インクルーシブ教育推進事業の実施状況はどのようか（R6.第3回定例会） | → 文科省の方針に沿って特別な支援を要する幼児・児童・生徒について、最も相応しい学びの場を提供するため、教育支援委員会を設置している。就学時に決定した学びの場は発達の程度等により双方向での転学等が可能。 |
| | ○「学びの多様化学校」設置に向けた検討を（R7.第2回定例会） | → 文科省は全国で58校の設置を目指している。他市町の先進事例を注視し、良い点を取り入れるよう努力する。 |
| | ○「重点まちづくりゾーン」に図書館整備、どう進める？（R7.第4回定例会） | → 「自治医大駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定する。平行して図書館個別の基本計画を策定する。 |

＊詳細については会議録閲覧（市役所庁舎議会事務局・市内図書館）、又は村尾にお問い合わせください。

## 【行動記録】　太字は議員としての公的活動

12/19 ～ 1/21　村尾市議会報告 No81 編集･印刷作業

【1月】
- 10　**賀詞交換会**
- 11　**二十歳のつどい**（南河内公民館）
- 12　**天平マラソン大会開会式**
- 15　**議会運営委員会／議員全員協議会／議会活性化特別委員会**
- 21　市民との懇談
- 22　**市議会第1回臨時会**
- 24　全国自治体議員行財政自主研究会「2026 年予算」菅原敏夫氏（Zoom）
- 25　GT 祇園 5 丁目自治会班会
- 26　**教育福祉常任委員会**
- 31　薬師寺跡第 44 次発掘調査説明会

【2月､3月】
- 2　市民との懇談（市議選について）
- 3　**議会運営委員会／議員全員協議会**
- 5　加藤議員との打ち合わせ（一般質問について）
- 6　会派下野市民派クラブ連絡会／研修会「市内 JAS 認証農業者･浦田　優さんとの懇談」浦田　優氏
- 9　一般質問通告書提出（提出期日が予約制に）
- 11　在宅ケアネットワーク栃木シンポジウム（自治医大地域医療情報センター講堂）
- 12　**議会運営委員会／議員全員協議会／議会活性化特別委員会**／下野市民派クラブ連絡会
- 14　**市議会主催「議会報告と意見交換会」**
- 15　会派下野市民派クラブ有志による議会報告＆意見交換会（加藤･村尾）
- 16　一般質問について執行部からの取材
- 18　**議会会派代表者会議／議会モニターとの懇談会(議会運営委員会)**／市民との面談
- 20　県南地域の地下水をいかす市民ネットワーク運営委員会（宇都宮市）
- 23　市長との面談

2/24 ～ 3/19　**市議会第1回定例会**
- 24､25､26､27､3/2､19　**本会議**
- 2/27　**村尾一般質問**
- 3/2　**村尾総括質疑**
- 3/3､4　総務常任委員会傍聴
- 6､9　**教育福祉常任委員会**
- 11､12　経済建設常任委員会傍聴
- 17　**議会運営委員会／議員全員協議会**

- 1　下野市水道水市民ネット運営委員会
- 8　男女共同参画のつどい「子育て､そしてーがん､アナウンサーパパ 奮闘記」笠井信輔氏
- 10　**南河内第二中学校卒業式参列**
- 11　**OK** シードプロジェクト学習会（Zoom）
- 14　**野ばら幼稚園卒園式参列**
- 15　**市政施行20周年記念式典･記念講演 永井良三学長(自治医大地域医療情報センター)**／藤岡隆雄さんとの懇談会
- 18　**緑小学校卒業式参列**／会派下野市民派クラブ「原油価格及び燃料価格の急騰への対応に関する要望書」を市長へ提出
- 21　とちぎ地域自治研究所理事会（Zoom）
- 22　市議選対策ミーティング
- 27　インクルーシブ教育定例研究会（Zoom）
- 29　GT 祇園 5 丁目自治会総会

【4 月】



- 9　**南河内第二中学校入学式参列**
- 10　**祇園小学校入学式参列**
- 11　水道水市民ネット運営委員会

3/21 ～ 22　議会だより No80 原稿作成

3/15 ～ 4/12　村尾議会報告 No82 編集･印刷作業

### 《議員報酬と主な使途》（R8 年 1 月～ 4 月 10 日）

【収入】
- ・議員報酬（1 ～ 3 月）　1,050,000 円
- 　期末手当差額　13,961 円
- ・所得税還付金（R7 年分）　1,083,124 円
- ・自動車税還付（廃車による）　7,500 円

【主な支出】　（単位：円）

･所得税 145,764 ・住民税 54,025 ・議員親睦会 3,000 ･自動車維持費 90,900 ・家計へ 180,000 ・パソコン維持費 64,146 ・新聞･図書費 45,400 ・通信費 56,890 ・印刷用紙 93,918 ･報告書作成作業工賃 13,915 ・交通費 1,460 ・医療費 12,500 ・事務費 1,200 ・団体等会費 11,000

改選後､
第2回臨時議会が5月21日（水）､
第２回定例会は
6月4日（水）～19日（木）に
予定されています。



例年になく花を付けた
庭のロウバイ

～あれこれ～ ■アメリカトランプ大統領の考え方が全く理解できません。何故こんなにも破壊をするのでしょうか？結局、自国の兵士ばかりではなく他国の多数の市民も死に追いやっている。“アメリカファースト”と自国民には聞こえが良いでしょうが、結局は、世界各地で一方的な武力攻撃をしているようにしか思えません。破壊を続けるほど環境汚染、経済的損出になっているのに！今後が恐ろしい、日本は外交の力を発揮して！！強く願う

～ご挨拶～

これまでこの報告書をお読みくださった皆様、誠にありがとうございました。「住民の意見を伝え、議会の様子を知らせること」、これが私の議員活動の原点でした。以来、46年間もの長い間、議会報告書発行を継続することができましたことに大きく安堵するとともに、長年にわたり支援･協力してくださった皆様に深く感謝致しております。お世話になりました。

そして、お陰様で多くの学びの場にも参加できました。ありがとうございました。

皆様のご健勝をお祈り致しております。（2026.4.11記）

